

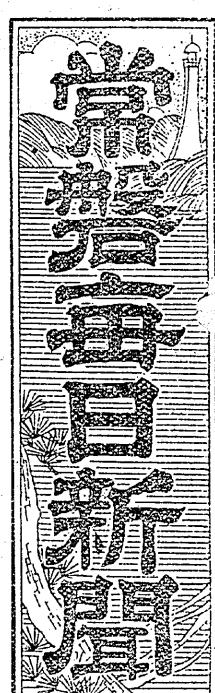
曾て八年間、大使として  
我國に駐劄し、親日外交家  
として知られたる獨逸のゾ  
ルフ博士は、大震災直後に  
於ける日本國民の復興的意  
氣の熱烈勇猛を推奨し、日  
本國民は大災厄に遭遇し、  
一人として悲觀し歎息する  
ものなく、艱難の加はると  
共に一層勇氣を鼓舞し、舉  
國一致の協力を以て復興に  
邁進し遂に復興の業を成就  
し其間に實現せる日本國民  
の精神力は今や物質文化機  
械文化のために魂を失つ  
ゝある歐洲人士は、深く日  
本国民の精神力に學ぶ所が  
なくてはならぬ云々の主張  
を發表し、數年以前歸國以  
後も熱心に日本の推奨と日  
本文化日本道德の讚美に努  
め、最近に於ては日支紛爭  
に關し、日本の正義を明ら  
かにするため、歐洲各國を  
巡歷講演し有力な言論機關  
を通じて日本のために正義  
の主張に努めて居ると云ふ  
同博士と同様、我が國に大  
使として在任し詩人大使と  
して有名であった佛國のクロ  
ーデル氏の如きも、大震  
災に直面せる我が國民の從

容たる態度に痛く驚歎し、  
日本國民は人生の最大災厄  
に直面して寧ろ欣然として  
大災厄を藝術的に欣賞する  
の精神的餘裕を有すと說き  
且つ日本の神道は清淨と敬  
虞との至情の極致であつて  
日本國民が上皇室に對し  
奉る敬虔の至心は、歐洲の  
宗教界に於て求め得べから  
ざる嚴肅且つ神聖の極致を  
示めし、實に宗教的極致に  
は、全世界に比類がないと  
の觀察を下し此等日本國民  
の特質は恐れ多い極みであ  
るが、大正天皇御大喪儀及  
び今上天皇陛下御即位式  
を初じめとし、其他の國家  
的儀式を通じて最も明確に  
實現し會得するを得たとの  
所見を發表する所があつた  
此等ゾルフ博士及びクロ  
ーデル氏の如き有識者の言は  
日本國民に於ても取つて以  
て玩味すべきであつて實際  
に於て、明治大正昭和を通  
じ國家的の事件に際して我  
が日本國民が發露せる國民  
的美風は、日本國民自ら顧  
みて壯快且つ感激に堪へさ  
が、今回的事變に於て發揮  
せる日本國民の愛國的熱情  
及び日本軍隊の卓越せる力  
量と勇壯剛健の精神とは眞  
に美中の美、壯中の壯と云  
ふべきであつて世界各國の  
大事に遭遇して益々國民の  
精神を鍛磨し、憂國の熱情  
とを與へたるも偶然でない

## 國家的大試練

(一)  
辯護士 門傳清吾

充實し、國民的試練の實績を擧ぐることは國民としての重大なる任務と云はなければならぬ。



刊行日 每日新聞  
日曜日 常磐橋前印刷所  
新宿区西新宿三丁目  
電話番号 03-221-1111  
支社 一部全販  
廣告料 五號十二字 金五拾錢  
日報費 一日三元  
定期費 一日五元  
付費 一日五元  
支社 一部全販  
廣告料 五號十二字 金五拾錢  
日報費 一日三元  
定期費 一日五元  
支社 一部全販  
廣告料 五號十二字 金五拾錢  
日報費 一日三元  
定期費 一日五元

## ◎革靴自製部新設

注文靴 修繕靴  
●高級ゴム長靴  
●五圓均一靴  
●各種鞄類  
菊地靴店

親切叮寧請合

高級ゴム長靴  
マルトモビル内  
五圓均一靴  
菊地靴店  
電話四三六番

鳥の油 六勉強  
一升入同 九十錢  
平田町搔槌小跡  
電六五四番

滋養豊富、天ぶら其他揚物等には頗る美味……  
是非一度御試食下さい、多少不拘配達致します

## 専門内科一般

宅診 内科は何でも診療致します  
往診 呼吸器病ばかりではありません

平田南町六五

川井内科診療所  
醫學士 川井重之  
電話一八一一番  
女醫 川井安子

度量衡、計量器、吸入器  
用酸素、酸素吸入器

關內藥局  
電話四〇番

當地方に於ける

タクシードラッグ

最高級車アリモス號増車致しました

何卒御用命の程御願ひ致します

セリヤワタクシードラッグ

氣管食道科

大和田醫院

平南町(電話一七〇番)

江戸前料亭  
當辨入重御  
寄なべ はまなべ 鳥なべ  
ゼビ一度御試食下さい  
迅速出前 錦水  
田町末廣東隣り(電話四五四番)  
◇受付は午前八時より午後八時まで  
但し急患者は此の限りにあらず

齒科  
口腔外科  
治療科  
矯正科  
補綴科  
齒槽脹漏科  
齒列

東京齒科醫學士  
中村文一

中村齒科醫院

平田鍛冶町吉田屋吳服店西隣り

## 鵜沼水兵の 遺骨歸る

平驛頭に盛んな出迎

明日午後三時

既報 本日五日上海事變の際陸戰隊員として活躍し名譽の戰死を遂げた石城郡鹿島村出身三等水兵鵜沼美好君の遺骨は明十八日午後三時十一分平驛着列車にて到着在郷軍人分會、青年團、各校生徒の盛んな出迎へを受け直ちに郷里鹿島に向ふと

日々木熊吉氏は任期満了となつたので此の程改選同町佐々木清吉氏が當選したと

乾電池製作

第一校で講習

平第一小學校では兒童の理科教授資料とし十八日午前十時より校内理科教室に於いて岩田嘉博氏が講師となり乾電池製作講習會を催す

午後五時四十分敵陣地第

第七區三丁目の衛生區長佐

(中) 平田身佐藤武君通信

ハルピンへ  
行進激闘

ハルピン警備地にて

第七區三丁目の衛生區長佐

君の遺骨は明十八日午後三時十一分平驛着列車にて到着在郷軍人分會、青年團、各校生徒の盛んな出迎へを受け直ちに郷里鹿島に向ふと

強くなれり。  
五日拂曉を期して、彼我の野山砲追撃砲戦は開始される、十時一寸前に聯隊本部前に大きな追撃砲落下佐藤軍曹以下三名即死、重傷者七名各中隊の命令受領者(多く曹長階級の方が本部に命令取りに行つて集結なし命令受領中)我が第七中隊の管野曹長殿も其の一人でした。第二大隊本部附の山本軍曹殿の如きは頭部兩足手等、見るにみられぬ五

一線の一部を占領なせど、此の地は高地の爲め、大いに目標と成り、敵砲彈は益々大隊本部聯隊本部に落下せり。死傷も益々多くなるのみ、而かし我が二九聯隊は雨と降来る彈の中に有り

午後五時四十分敵陣地第

一線の一部を占領なせど、此の地は高地の爲め、大いに目標と成り、敵砲彈は益々大隊本部聯隊本部に落下せり。死傷も益々多くなるのみ、而かし我が二九聯隊は雨と降来る彈の中に有り

東部に移動なす様な風無し

蔭口によれば此のまゝ此處に居つたなれば、明早拂曉には敵砲彈の一齊射擊を受ける、聯隊全滅は明らかとの事

を耳になせり、午前一時頃逆襲ありしが良くこれを擊退、深夜になりて益々統轄

△南町四九西牧常八(五四)

## 藤原川改修

水害から免る

石城郡磐崎村、玉川村、小名濱町を貫流する藤原川の改修工事は六年度において玉川村野田地先の堤防を改修し七年度の繼續方を極力

日々木熊吉氏は任期満了となつたので此の程改選同町佐々木清吉氏が當選したと

平穀物検査支所では從來移出米の検査料一俵につき九錢であつたものを四月一日から十錢と改正する事になつたが同所管内に於ける一ヶ年の移出米検査數は平均

五萬俵との事にて米穀商中に可成り反対ある模様であると

## 移出米の

検査料を値上

従來の九錢を十錢に

平穀物検査支所では從來移出米の検査料一俵につき九錢であつたものを四月一日から十錢と改正する事になつたが同所管内に於ける一ヶ年の移出米検査數は平均

五萬俵との事にて米穀商中

に可成り反対ある模様であると

## 平町の 生産物

昨年度統計

蠶業が最多

濱三郡に於いて冠絶せる商工業地と見られて居る平町の昨年度生産物は左記の如くであると

生産高 金額

△米二、二五石(三、二五圓)

△綠物肥料作物

一四、四〇 (八五圓)

△蠶糸類 三、六貫(三、一元圓)

△酒類七五貫(西、四三〇圓)

△米二、二五石(三、二五圓)

△酒井醇氏(三〇)平町古銀治町九一神谷ハル(一一)

△鈴木武男(二二)仲町四佐藤チイ子(二三)

△石城郡神谷村字鎌田四四

## 鈴木辰三郎氏を推薦す

拜啓 貴下益々御清榮奉慶賀候

陳者此度の選舉に際し鈴木辰三郎氏を推薦せんとす

るは啻に同氏が本郡に於ける我が黨唯一の公認候補者たるのみならず更に他の理由の存するものに有之

候御承知の通り同氏は夏井村の農家に生れ獨學自修研究せず年齢僅か貳拾代にして郡會議員に擧げられ

更に縣會議員に當選する事數次今や縣政を統帥する名幹事長として其の才幹は吾人の等しく認識する處に於いて同氏の聲望旭日昇天の概あるは如何に同氏の手腕力量が尋常一様の器に非る事を雄辯に物語る證左にして梅檀は二葉より芳しあとは正に同氏を適評するものに候

實に同氏は獨立獨歩幾多の困難と戰ひ刻苦勉勵今日の地歩を得たり、然れども同氏の眞價は過去に非ずして未來に屬す蓋し過去の經歴が將來を豫断する最良の羅針盤なりとせば同氏の將來の發展向上も略々想像に難からず候

況むや同氏は前途春秋に富む有爲の士なれば一度議政壇上の人たらんか平々凡々月並の一陣笠として埋るるものに非ず必ずや天下に『鈴木』ありとの存在を明かにし軒て驚天動地の仕事をなし貴下の御負託に背かぬ事必定と存候、夫は同氏を親しく熟知する人の何人も同感とするところ、而も同氏は仁侠に富み満身是れ血と熱の結晶にして政治家としての天才的素質は十二分に具備するものに候

小学生は同氏の先天的天才を遺憾なく發揮せしめ以て將來ある同氏の前途を有意義たらしめ度敢へて貴下の尊き一票を懇望する次第に御座候 敬具

昭和七年二月十一日

大塚の

學生靴!!!

牛靴 五〇〇

編上靴 六・〇〇

耐久新製品

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を

大塚店製靴部

電話七七番

大塚店製靴部

電話七七番

誠に便利な

品商

金額の多少に不拘調

御希望通りな

御品券

番六八二

平町南町

鳥肉商

一冊の代金で

自由に読める

五冊の雜誌が

川崎巡文庫

電話二二九番

申込次第規則書進呈

上田外科医院

鵜波醫院

川崎巡文庫

電話五〇二番

平町南町

電話二二九番

△石城郡江名町字南町五一

△酒井醇氏(三〇)平町古銀

△鈴木武男(二二)仲町四佐

△藤チイ子(二三)

△石城郡神谷村字鎌田四四

△酒類七五貫(西、四三〇圓)

△米二、二五石(三、二五圓)

△米二、二五石(三、二五圓)

△鈴木武男(二二)仲町四佐

△藤チイ子(二三)

△石城郡神谷村字鎌田四四

△酒井醇氏(三〇)平町古銀

△鈴木武男(二二)仲町四佐

△藤チイ子(二三)

△石城郡神谷村字鎌田四四

△酒類七五貫(西、四三〇圓)

△米二、二五石(三、二五圓)

△鈴木武男(二二)仲町四佐

△藤チイ子(二三)

△石城郡神谷村字鎌田四四

△酒類七五貫(西、四三〇圓)

# きの権氣分の防止に

「活かせ一票！」と

其筋が大努力の宣傳

國民の總意を反映せしめよ

總選舉も餘すところ三日と  
まで切迫し各區候補とも血  
みどろの大激戦を演出して  
ゐるが有權者中には政民兩  
派いづれが

は誠に感謝に堪へざる所な  
るも近く二十日を以て行は  
る衆議院議員の

總選舉は國民の總意  
を國政の上に反映せしむべ  
き又最も重大なる國民の義

務に之有若し一人の棄權は  
敢て事に影響なしとの考へ  
を以て選舉權の行使を怠る  
が如き者ありとせんか積勢  
の及ぶ所遂に憲政の進展を  
阻害するに至るべし棄權防  
止に關しては先に留意を促  
せることあるものこの際

一般の工夫を以て地  
方適切の方法により選舉民  
の自省を促すと共に選舉權  
行使に就いて利便の途を講  
ずるようといふにある

選舉に崇られて

後六、〇〇（子供の時間）  
童話劇「初鶯」如月こと  
も會

後七、三〇 中部支那事情  
就て一日清汽船株式會社

長男爵深尾隆太郎「繪本  
大功記」豊竹若凌

後八、五〇 ラヂオレヴエ

前九、一〇 料理献立「鮪  
の油揚げ」小林忠雄

前一〇、三〇 家庭講座  
「新入學兒童の虛弱と保  
健」醫學博士岡田道一

後〇、〇〇 五筑前琵琶湖  
水渡 泉旭春

後九、三〇 奉天より放送  
藤島俊郎外大勢

後九、三〇 奉天より放送  
長狭間茂

後八、〇〇 新内不斬櫻  
下總土產 鶴賀若狭櫻

後八、三〇 新筝曲 宮城  
道雄外

後八、五〇 管絃樂 東京  
府荏原町新交響樂團練習

後九、三〇 奉天より放送  
伴奏柴田千代

ピアノと歌 宮城縣第一

吉

心得置くべき醫學の知識

（七）醫學博士平松鶴

人で最高 次ぎは工業方面

の二千三百五十八人、公務

業別を見ると流石に商業關

が調査した平町全人口の職

業別を見ると流石に商業關

の良悪は棄權に多く關係す

投票日天候 投票日

測候所保證 の天候

投票日天候

投票日

投票日天候

投票日天候</p



【載轉禁】

(四十五)

渡邊黙禪作  
布施平八郎画

未亡人の秘密 (4)

『何處かへ宜しく浸け込み

あがるんだな。ふ、ん、畜

生』

忌々しげに見送つた彼は

こんな場合に直と跡を追つ

かけて、その穴を突止めて

やるオートバイ一つすら持

合せぬ自分の貧しさを果敢

なんだ。

頓つて我に歸つて猪如何

せうかと考へた時に何處か

へ使にでも出たらしい女中

が鳥部の家の通用門に入る

のを見かけた彼はそれに誘

ひ込まれるやうに表口に突

かけていつて勢ひよくがら

りと格子戸を開けると、用

心深く盜賊避けの電氣装置

がしてあつてヂチューとい

ふ鈴がうるさく蟬の音を立

てた、出て來たのが今見か

けた女中だつた。

『先生は御在宅ですか、一

寸お目に懸りたいのです

が』

舞踏と洋樂の教授をして

ゐる女なら先生といつても

差支ない筈だと、然う信じ

たのであつたが、女中には

分らなかつた。

『先生ツて、どなたの事で

す』

『おかみさん——いや、奥、成るべくなら今度に願

さんですよ……當家の御主

郁子と聞いてからりと体  
度が變つた、奥に入つてか  
ら程なく出て来て案内した  
ところは小さつぱりした下  
座敷だつた、見ると其處に  
其お嬢さまと呼ばれた女玉  
人がゐて、金屬の讀本台を  
後ろにたてたまゝ、洋琴を

『あゝ、然うですか、失禮  
しました、少々お待ち下さ  
いまし』

人で』

『ちつて何度も言ひ直し

た、女中はくすくす笑つて

『あなたは』

『まよろ／＼と風体を伺つ

た。』

十文字商會といふ朱で消

した名刺を出して。

『あなたを、どつかでお見

かけ申したことは有りはし

ませんでしたかしら』

女の方でも然うと氣づい

たらしく憮う先手を打つた

『え、私もそんな気がし

ます、あゝ然う／＼いつ

でしたか磯子の山の上でお

目に懸りましたよ』

『あツ、然うでしたわね、

オホ、、、、』

『態とらしい愛想笑ひをし

て失禮をしましたのね、あ

の時は軽變にお思ひなす

たでせう、あんな眞暗な淋

しい山での奥さんと密會：

……でも女同志ですか、殿

方の抗議をうけなくとも済

みますね、尤も事に依つた

わオホ、、、、』

いのですが  
『いや、お手間は取らせま  
せん、實は手前の主人足鷹  
郁子さんの御用で一寸御話  
したいことがあるのでなんか  
ら』

『いいえ、私こそ』  
こう挨拶を交してから高  
野はひよいと首を擡げてそ  
の顔に瞳を据えると、いつ  
か山王の森の闇で郁子と密  
會してゐた女……懷中電燈  
の白い光に映つた大ハイカラ  
の美人だつたので、おや

と面喰つた。

『あなたを、どうかでお見  
かけ申したことは有りはし  
ませんでしたかしら』

『お醬油は……ヤマフル

う存じます』

『

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

』

</